

【近畿 ESD コンソーシアム・学生による ESD 活動支援】

アースデイ奈良 2022 活動報告書

英語教育専修 2 回生 苗代 昇妥

1. 日時 2022 年 4 月 23 日（土） 7 : 00 ~ 16 : 00

2. 場所 奈良公園 登大路園地

3. 参加者 教育学専修 3 回生 木下 結等
社会科教育専修 3 回生 北野 結衣
英語教育専修 3 回生 川口 綾菜、河野 木香
英語教育専修 2 回生 苗代 昇妥
書道教育専修 2 回生 栗垣 実咲

4. 活動の概要

2022 年 4 月 23 日（土）に奈良公園でアースデイ奈良 2022 が開催された。本イベントは「2030 年のゴールまであと 8 年～サステナブルを奈良から発信する～」をテーマに行われ、「ゴミを出さない」など環境に配慮した形で開催された。様々な団体がブースを出店し、幅広い方々の参加があった。奈良教育大学ユネスコクラブは、本イベントにボランティアスタッフとして参加し、環境に配慮した持続可能なイベントの当日運営を行った。



アースデイ奈良で司会を行う学生

5. 参加学生の学び・感想

4 月 23 日（土）にアースデイ奈良 2022 に参加した。私はステージの司会担当を中心に活動させていただいた。このイベントに参加して一番感じたこととして人とのつながりが挙げられる。イベントに参加した人、イベントをつくってきた人、当日ボランティアとして参加した人、様々な人たちが同じ場所に集まり一つのテーマ（地球のこと、環境のことについて）を考えることが出来たのはとても意味のあることだったと思う。特にコロナ禍でこのようなイベントを成功させることが出来たのは自信にもつながった。今後も積極的に活動に参加していきたいと考えている。

（教育学専修 3 回生 木下 結等）

アースデイ奈良 2022 に参加し、環境に対する自分の行動を見直すことができた。毎日当たり前のように、プラスチック容器を使い捨てている現状がある。それは、衛生面や捨てやすさが背景にあるのだが、今一度振り返ると本当に使用する必要がある場合は少な

い。環境について考えるだけで終わっている現状から抜け出し、行動に移していかなければならないことを痛感した。現在や少し先の未来だけを見てはいけなことを改めて考えることができた良い機会だった。

(社会科教育専修3回生 北野 結衣)

アースデイを通して、意識することの大切さを学んだ。イベントには大人や子ども、外国の方など多くの人々が参加していた。多様な人々と関わる中で、環境問題に関心がある人や環境のために活動している人が奈良にたくさんいることを知り、その方々の思いや行動に触発された。イベント中もイベント後もゴミ一つ落ちておらず、人々の意識の高さを実感した。また、プラスチックなどのゴミをそもそも出さないための工夫もされていた。例えば、食器をレンタルできる制度や空き箱や鉛筆、麻紐の利用などだ。少し意識して行動を変えるだけで環境への影響が変わると分かった。今後は私も普段から意識して行動しようと思う。

(英語教育専修3回生 川口 綾菜)

アースデイ奈良 2022 にボランティアとして初めて参加した。サステイナブルを念頭に、ゴミを出さない、マイ食器やマイバッグを持参する、使用しない物品や環境に優しい製品を景品として提供するなど、参加者のみなさんの環境に対する意識の高さを実感した。また、環境に配慮して生活するとはどういうことかを体験することができた。今回の参加で学んだことを踏まえて、今後は普段の自身の行動に目を向けて、自分が環境のために出来ることは何かを、より意識して行動していきたい。

(英語教育専修3回生 河野 木香)

私にとって、ボランティアとしてイベントに参加するのは今回が初めてだった。イベントに運営側として参加することで、今までは分からなかったことをたくさん知ることができた。特に環境を守るための意識と行動の面で刺激を受けた。イベント運営について込みを出さないことや、環境に配慮して運営することを徹底されており、自分の行動を見つめ直すきっかけとなった。自分でもできる小さな行動を少しでもたくさん行いたいと思う。

(英語教育専修2回生 苗代 昇妥)

私はステージ司会としてアースデイ奈良 2022 に参加させていただいた。私がこのイベントを通して、イベントを企画・運営するということは計り知れない時間や人手が必要で、注意を払わなければならないこと、数知れない問題点をすべて把握し、解決していかなければならないことを学んだ。だがその分、多くの人と役割分担をし、全員が最善を尽くすことで大きな力が生まれ、イベントを成功させることができるということも学んだ。今回の参加を通して私は大きく成長することができたと確信している。今回学んだことを活かし、今後も積極的に様々な活動に参加していきたいと考えている。

栗垣 実咲(書道教育専修)